

平成23年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年3月4日

上場取引所 大

上場会社名 ゼネラルパッカー株式会社
 コード番号 6267 URL <http://www.general-packer.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅森 輝信
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小関 幸太郎
 四半期報告書提出予定日 平成23年3月14日 配当支払開始予定日

TEL 0568-23-3111
 平成23年4月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年7月期第2四半期の業績(平成22年8月1日～平成23年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年7月期第2四半期	1,759	△12.7	59	△60.2	63	△58.4	38	△58.3
22年7月期第2四半期	2,015	6.0	148	33.4	153	31.2	91	36.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年7月期第2四半期	4.34	4.32
22年7月期第2四半期	10.16	10.14

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年7月期第2四半期	3,952	2,809	70.9	319.96
22年7月期	4,196	2,799	66.6	319.04

(参考) 自己資本 23年7月期第2四半期 2,803百万円 22年7月期 2,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年7月期	—	3.50	—	3.50	7.00
23年7月期	—	3.50	—	—	—
23年7月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年7月期の業績予想(平成22年8月1日～平成23年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,900	5.9	215	25.3	220	24.2	130	23.3	14.83

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 5「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年7月期2Q 8,994,000株 22年7月期 8,994,000株

② 期末自己株式数 23年7月期2Q 230,707株 22年7月期 229,776株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年7月期2Q 8,763,460株 22年7月期2Q 8,989,200株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付書類）4ページ「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	4
2. その他の情報.....	5
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	5
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	5
3. 四半期財務諸表.....	6
(1) 四半期貸借対照表.....	6
(2) 四半期損益計算書.....	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(5) セグメント情報.....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資などに回復傾向が見られたものの、円高の進行や厳しい雇用情勢などから、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

包装機械業界におきましては、顧客企業の設備投資の抑制傾向が続いており、受注環境は厳しい状況で推移しております。

このような状況のなか、当社は新規顧客と新たなマーケットの開拓、新機種の拡販、海外販売の強化に努めるとともに、収益性の向上に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間における売上高につきましては、販売台数が増加したものの、大型案件の実績が減少したことから、前年同期に対し255百万円の減収となりました。また、当第2四半期売上予定案件の一部が第3四半期にずれ込むこととなったことから、業績予想に対しては40百万円の減少となりました。

一方、受注高につきましては、高価格機種の受注が増加したことから、前年同期を上回りました。

収益面につきましては、販売費及び一般管理費は大型展示会費用の発生が無かったことに伴い前年同期より減少しましたが、売上高の減少と売上総利益率の低下に伴い売上総利益が大幅に減少したことから、営業利益及び経常利益につきましては、前年同期より減益となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,759百万円(前年同期比12.7%減)、営業利益59百万円(前年同期比60.2%減)、経常利益63百万円(前年同期比58.4%減)、四半期純利益は38百万円(前年同期比58.3%減)となりました。

当社は、自動包装機械製造事業の単一セグメントであります。品目別売上高の概況は次のとおりであります。

給袋自動包装機は、販売台数が増加したことから、売上高は927百万円(前年同期比12.5%増)となりました。

製袋自動包装機は、高価格機種の実績が減少したことから、売上高は233百万円(前年同期比20.7%減)となりました。

包装関連機器等は、包装システムで大型案件の実績が減少したことから、売上高は126百万円(前年同期比74.6%減)となりました。

保守消耗部品その他につきましては、高額の保守案件の実績が増加したことから、売上高は471百万円(前年同期比18.5%増)となりました。

なお、当社の各四半期ごとの売上高は、受注案件の売上計上時期の偏りと高額案件の有無等により、大きく変動する傾向にあります。一方、販売費及び一般管理費は比較的変動が少ないことから、利益につきましても、売上高に大きく影響されることとなり、各四半期の業績は大きく変動する傾向があります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は2,965百万円となり、前事業年度末に比べて242百万円減少いたしました。この主たる要因は、売上債権及びファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額との合計額が前事業年度末に比べ240百万円増加したものの、現金及び預金が前事業年度末に比べ415百万円減少したこと、たな卸資産が前事業年度末に比べ75百万円減少したこと等によります。

固定資産につきましては、当第2四半期会計期間末残高は987百万円となり、前事業年度末とほぼ同額となりました。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ243百万円減少し、3,952百万円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は1,078百万円となり、前事業年度末に比べて257百万円減少いたしました。この主たる要因は、仕入債務が前事業年度末に比べ210百万円減少したこと、未払法人税等が前事業年度末に比べ46百万円減少したこと等によります。

固定負債につきましては、当第2四半期会計期間末残高は65百万円となり、前事業年度末に比べて3百万円増加いたしました。この主たる要因は、役員退職慰労引当金が前事業年度末に比べ3百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ253百万円減少し、1,143百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高につきましては、利益剰余金の増加等により、前事業年度末に比べ10百万円増加し、2,809百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間における当社の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ315百万円減少し、当第2四半期会計期間末には1,237百万円となりました。

また当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は351百万円（前年同期は293百万円の獲得）となりました。この主たる要因は、売上債権の増加額が前年同期比184百万円増加の188百万円となったこと、仕入債務の増減額が前年同期の28百万円の増加から当第2四半期累計期間は210百万円の減少となったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は66百万円（前年同期は132百万円の使用）となりました。この主たる要因は、定期預金の預入による支出が前年同期とほぼ同額の118百万円となったものの、定期預金の払戻による収入が200百万円あったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は前年同期とほぼ同額の30百万円となりました。これは、配当金として30百万円の支払いを実施したこと等によります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、一部に需要の回復が見られるものの、全体としては顧客企業の設備投資は低調に推移し、受注環境は厳しい状況が続くものと予想されます。

当社におきましては、新機種の開発、海外販売の強化などに取り組むとともに、経費削減に努め、収益の確保を目指してまいります。

今後の業績の見通しにつきましては、第2四半期累計期間の業績は、期首業績予想を下回ったものの、第3四半期以降でカバーすることが可能な見通しであることから、通期の業績予想につきましては、見直しを実施しておりません。

以上により、平成23年7月期の通期業績予想につきましては、平成22年12月1日発表「平成23年7月期第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」の業績予想値と変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年1月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,338,135	1,753,987
受取手形及び売掛金	850,470	661,771
仕掛品	290,564	348,419
原材料及び貯蔵品	291,491	308,641
未収入金	129,496	79,516
その他	65,544	55,799
貸倒引当金	△188	△139
流動資産合計	2,965,513	3,207,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	574,758	592,968
土地	280,603	280,603
その他(純額)	24,573	26,385
有形固定資産合計	879,935	899,958
無形固定資産	16,608	10,153
投資その他の資産	90,762	78,093
固定資産合計	987,307	988,204
資産合計	3,952,820	4,196,200
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	667,612	878,434
未払法人税等	23,480	69,809
賞与引当金	41,955	31,264
役員賞与引当金	—	9,800
製品保証引当金	8,908	8,245
その他	336,418	337,892
流動負債合計	1,078,376	1,335,447
固定負債		
退職給付引当金	31,272	31,034
役員退職慰労引当金	33,880	30,450
その他	28	39
固定負債合計	65,181	61,524
負債合計	1,143,557	1,396,971

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年1月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	251,577	251,577
資本剰余金	282,269	282,269
利益剰余金	2,308,552	2,301,151
自己株式	△43,016	△42,844
株主資本合計	2,799,382	2,792,153
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,495	3,998
評価・換算差額等合計	4,495	3,998
新株予約権	5,384	3,077
純資産合計	2,809,262	2,799,228
負債純資産合計	3,952,820	4,196,200

(2) 四半期損益計算書
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成22年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年1月31日)
売上高	2,015,227	1,759,687
売上原価	1,458,180	1,317,113
売上総利益	557,046	442,574
販売費及び一般管理費	408,383	383,477
営業利益	148,662	59,096
営業外収益		
受取利息	1,427	986
受取配当金	124	124
設備賃貸料	—	2,400
生命保険配当金	1,146	—
その他	2,909	2,165
営業外収益合計	5,607	5,676
営業外費用		
支払利息	849	965
その他	1	0
営業外費用合計	850	965
経常利益	153,419	63,806
特別損失		
投資有価証券評価損	—	6,574
特別損失合計	—	6,574
税引前四半期純利益	153,419	57,231
法人税、住民税及び事業税	59,746	21,545
法人税等調整額	2,326	△2,389
法人税等合計	62,073	19,156
四半期純利益	91,346	38,075

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成22年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	153,419	57,231
減価償却費	23,839	25,975
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,250	△9,800
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△18,370	3,430
受取利息及び受取配当金	△1,551	△1,110
支払利息	849	965
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,211	△188,699
たな卸資産の増減額 (△は増加)	102,176	75,004
未収入金の増減額 (△は増加)	△10,607	△49,979
仕入債務の増減額 (△は減少)	28,875	△210,821
前受金の増減額 (△は減少)	△8,447	60,997
その他	27,444	△48,613
小計	285,167	△285,418
利息及び配当金の受取額	1,874	1,428
利息の支払額	△849	△965
法人税等の支払額	△768	△66,306
法人税等の還付額	7,583	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	293,007	△351,262
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△118,021	△118,142
定期預金の払戻による収入	—	200,077
有形固定資産の取得による支出	△12,012	△12,549
無形固定資産の取得による支出	△3,100	△2,584
投資有価証券の取得による支出	△500	—
その他	858	△644
投資活動によるキャッシュ・フロー	△132,775	66,156
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△171
配当金の支払額	△31,404	△30,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,404	△30,811
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	128,827	△315,917
現金及び現金同等物の期首残高	1,161,194	1,553,910
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,290,021	1,237,992

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、自動包装機械製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。